

2017年4月28日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

株式会社川崎ホールディングスに投資実行

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東泰志、以下「NHC」）が管理運営するニューホライズン 2 号投資事業有限責任組合（以下「NH-2」）は、本日、戸建住宅販売会社である株式会社川崎ホールディングス（本社 熊本市北区高平、代表取締役会長 川崎昌美、以下「川崎ホールディングス」）への投資を実行しました。川崎ホールディングスの発行済普通株式の約 3 分の 1 を取得、加えて新たに発行した無議決権株式 100 万株を引受けいたしております。

川崎ホールディングスは、九州及び東海地域での分譲住宅の施工・販売を行う地域密着型企業として、創業以来約 30 年にわたって着実に成長を遂げてきました。業歴に支えられた知名度や信頼度により、熊本・三重をはじめとした主要事業地域では、高いマーケットシェアを誇っています。今後は既存の事業地域に加え、成長が見込まれる都市部（福岡並びに名古屋地区）においても、事業を拡大させることを計画しています。

NHC は、成長資金を提供することにより、今後の都市部での事業規模の拡大を支援いたします。また、川崎ホールディングスの会長、社長ほか現経営体制に変更はございませんが、NHC から社外取締役 2 名、並びに社外監査役 1 名を派遣する予定です。これにより、IPO（株式公開）も視野に入れた同社のガバナンス強化を支援いたします。さらに、大手住宅設備メーカーである株式会社ハウステック（旧 株式会社日立ハウステック）、住宅設備卸商社である友工商事株式会社へ投資を実行し成長に導いた経験とともに、金融・専門家のネットワークを活用して、川崎ホールディングスの更なる発展を支援してまいります。

以上

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

成長支援、産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から 2006 年 10 月の会社分割を経て通算 15 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,500 億円超）を背景に、NHC として 2 本目、創業から 8 本目のファンドを運営しています。2002 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、SnSnap など、開示可能なエクイティー投資先だけで 37 社、全体では 90 社以上という日本随一の投資実績を有しています。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、上野

電話 03-5532-8921